



市指定ごみ袋を受け取る

## 紙ごみの減量のため

### 雑がみと市指定ごみ袋を交換

市ごみ減量化作戦連合協議会では、家庭から出たお菓子の箱やデパートの包装紙、メモ用紙、レシートなどの雑がみ2キログラムにつき市指定ごみ袋30リットル1枚と交換する取り組みを10月1日から開始しました。期間は12月28日までの3か月間。回収場所は、市役所環境課、各支所、各出張所、東公民館、西公民館の8か所です。現在燃やせるごみの中に約30パーセント含まれている紙類を、資源としてリサイクルすることで、さらなるごみの減量を図ります。

## 交通事故の抑止のため

### 交通事故死ゼロを目指す日テント村

市民一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故の発生を抑止するため「交通事故死ゼロを目指す日テント村」が9月29日、サンロード吉備路で開かれました。

クラシックカーによる交通安全啓発パレードや交通安全体験車「ふれあい号」での運転適正能力の検査、ハンドル型電動自転車（シニアカー）の試乗会などがあり、訪れた約1000人は交通安全への意識を高めていました。



交通安全を呼びかけるクラシックカーのパレード



湧永製薬のシュート

## 日本トップレベルを堪能

### 日本ハンドボールリーグ

日本ハンドボールリーグのトヨタ自動車東日本×湧永製薬とトヨタ車体×大同特殊鋼の試合が9月17日、きびシアターで行われ、訪れた約1800人の観衆は、激しい攻防や豪快なシュートなど、日本トップレベルのハンドボールを堪能しました。

試合は湧永製薬が43 - 26で、トヨタ車体が36 - 24でそれぞれ勝利しました。

## ミニフォト

### スポーツの秋



グラウンドゴルフを楽しむ

体育の日の10月8日、市民総合スポーツ祭が市スポーツセンターや総社北公園陸上競技場など7会場で開催されました。約1100人が、ソフトバレーボールやテニス、サッカー、陸上競技などを楽しみ、心地よい汗を流していました。

### 日本の文化を学ぶ



書道に挑戦

オーストラリアのメルボルンの中高生15人が来総。9月22日から29日までの8日間、市内の家庭にホームステイしながら、総社西中学校の授業や、生徒やホストファミリーとの交流を通し、日本の生活や文化について学びました。

### 打楽器でサンバを楽しむ



リズムを刻みながら練り歩く

「サンバワークショップ 打楽器はおもしろい！」が9月15日、清音公民館で開催されました。50人が参加。打楽器の演奏方法やサンバのステップを練習した後、参加者全員でサンバ隊を組んで、合奏しながら会場内を行進しました。

### 防災意識を高める



バケツリレーで水を運ぶ

防災キャンプが昭和小学校を会場に9月16日・17日の1泊2日で開催されました。小学生や地域住民ら約80人が参加。井戸水からドラム缶風呂へのバケツリレーやダンボールでの避難所の設営、土のう積みなどを体験しました。

### そば祭りに向け順調



白いじゅうたんのようなソバ畑

原営農組合ではソバを約1.4ha栽培。9月下旬から10月初旬に白い花が咲き誇りました。そば粉にして約600kgの収穫が見込まれ、同組合では12月9日、水内河原で「そば祭り」を開催し、多くの人にそばを楽しんでもらう予定です。

### 震災の復興支援にと物産展



東北の名産を買い求める客

東日本大震災復興支援にと東北物産展（総社商工会議所青年部主催）が9月16日、天満屋ハピータウンリブ総社店で開催。東北の名産や岩手の釜石ラーメンを求める客でにぎわいました。売上の収益金は被災地に送られます。



今年も人気を集めた水あめの屋台



ほのかな灯りで照らされ幻想的なまちかど郷土館



獅子舞に頭をかまれる子ども



昔あそびの巨大なぶんぶんゴマに挑戦

## 昭和の情緒を懐かしみ、楽しむ

### れとろーど

商店街通り一帯で「れとろーど'12」が開かれ、9月22日・23日の両日、多くの家族連れらが昭和30年代の古きよき情緒を楽しんでいました。

空き店舗や軒先を利用した駄菓子屋やお茶席、喫茶店、映画館などがお目見え。また、まちかど郷土館のライトアップや昔あそびの体験、昔話の語りなどが人気を集めたほか、着物を着た「おもてなし隊」が道案内するなど、大いににぎわっていました。



着物を着て案内をするおもてなし隊



皿回しに釘付け